

学期	月	時数	単元名 教材名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 (評価方法)	
					知	思	態		
2 学期	8 月 9 月 5 月 6 月 ／ 硬筆 3	2 読みやすく速く書くための行書							
		8 月 9 月 (毛筆 5 月 ／ 硬筆 3)	点画の省略	・漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく速く書くことができる。	○			・漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく速く書いている。(清書作品) ○ ・進んで行書の書き方(点画の省略)を理解し、学習課題に沿って「雲海」を書こうとしている。(観察、振り返りシート)	
			筆順の変化	・漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書くことができる。	○			・漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書いている。(清書作品) ○ ・進んで行書の書き方(筆順の変化)を理解し、学習課題に沿って「紅花」を書こうとしている。(観察、評価シート)	
			行書に調和する仮名(いろは歌)	・行書に調和する仮名の書き方に注意して、読みやすく速く書くことができる。	○			・行書に調和する仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。(清書作品) ○ ・進んで行書に調和する仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って「いろは歌」を書こうとしている。(観察、評価シート)	
		8 月 9 月 (毛筆 5 月 ／ 硬筆 3)	行書と仮名の調和	・漢字の行書とそれに調和する仮名の書き方に注意して、読みやすく速く書くことができる。	○			・漢字の行書とそれに調和する仮名の書き方に注意して、読みやすく速く書いている。(清書作品) ○ ・進んで漢字の行書とそれに調和する仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って「豊かな心」「深まる秋」を書こうとしている。(観察、練習作品)	
			【国語・学校生活】 行書を活用しよう	・漢字の行書とそれに調和する仮名の書き方に注意して、読みやすく速く書くことができる。	○			・漢字の行書とそれに調和する仮名の書き方に注意して、読みやすく速く書いている。(清書作品) ○ ・進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして本の帯やノートなどを書こうとしている。(観察、ワークシート、評価シート)	
	12 月		【国語】 壁新聞を作ろう	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○		○	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。(清書作品) ○ ・壁新聞を作る活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。(清書作品) ○ ・進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。(観察、ワークシート、評価シート)	
			【やってみよう】 「デザインと文字」を考えよう	・目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解できる。	○		○	・目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解している。(発言、ワークシート) ○ ・進んでテレビ番組のタイトル文字を選び、学習課題に沿って①～④それぞれの印象や文字を選んだ理由を話し合おうとしている。(観察、発言、ワークシート)	
			【コラム】 物語を千年書き継ぐ(源氏物語)	・書くことで物語を後世に伝えてきた文字の役割を理解し、書写学習への関心を高めることができる。	○			・文字の役割について理解している。(発言、ワークシート)	
			書き初め	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○			・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。(清書作品)	
		1 月 3 月	4	【国語】季節のしおり2	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○		○ 書	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。(清書作品) ・季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。(清書作品)

[illegible]